

<土木部門>

No.	執筆者氏名 (○; 講演者)	題 名	発 表 誌 名	掲載ページ/ 発行(講演)年月
1	○中島卓夫	PCB・ダイオキシン類汚染土壌対策	(社)大阪建設業協会 土木 技術セミナー資料	2007. 2
2	林 茂郎 ○檜皮安弘(K-1推進工法協会)	推進工法(泥濃式)における適切な設計への提 案	プロジェクト・リサーチ 最近の推進工事にみる“厳し さへの対応” Vol. 31	pp. 54-75 2007. 3
3	○中島卓夫	間接熱脱着工法+熔融分解法によるダイオキ シン類汚染土壌の現地浄化の実施例	「土壌地下水汚染の調査・ 対策技術の現状」セミナー (関西)	2007. 6
4	○大村英士, 林 茂郎, 日高 厚	環境負荷を低減した泥水クローズドシステム による“長距離高水圧シールドの施工”	プロジェクト・リサーチ “ シールド工法”技術提案の 新たな試み Vol. 51	pp. 66-83 2007. 7
5	石倉洋一, 森田俊成	シールド工事の施工に関するQ&A(1) Q2. 土砂搬出の方法と得失を教えてください.	トンネルと地下 Vol. 38, No. 7	pp. 58-62 2007. 7
6	○日高 厚, 川西順次 小山 孝, 永塚典幸	脱水・固化処理技術による湖沼浚渫土の有効 利用に関する検討(その2)	第42回地盤工学研究発表会 発表論文集	pp. 535-536 2007. 7
7	辻 雅行(東京地下鉄) 岡 功(東京地下鉄) ○亀川 信, 角野叔昭	地下鉄駅舎部における大深度非開削工事につ いて	土木建設技術シンポジウム 2007論文集	pp. 77-82 2007. 8
8	○Nakashima T, Takamatsu J, Matsuike T, Koyama T, Matsuo T	Remediation Project Report of Dioxins Contaminated Soil in Nose Town, Osaka Japan	Dioxin 2007	pp. 869-872 2007. 9
9	中島卓夫	ダイオキシン類汚染土壌の現地無害化処理工 事 ー間接熱脱着(TPS) + 熔融固化(ジオメル ト) 法ー	第25回土木施工技術研修会	pp. 45-53 2007. 9
10	○山田浩幸, 駒村一弥 山本雅広	山岳トンネルの健全度評価と劣化予測に関す る一考察	土木学会第62回年次講演会	cs10-004 2007. 9
11	○後藤裕一, 山田浩幸 為石昌宏, 水町 実	高品質, 高耐久性を確保するためのトンネル 覆工コンクリートの新しい養生方法	土木学会第62回年次講演会	6-042 2007. 9
12	○江良和徳(極東工業), 為石昌宏 三原孝文(極東工業) 宮川豊章(京都大学大学院)	リチウムイオンを内部圧入する場合の注入圧 力と注入時間に関する考察	コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレード論文報 告集 Vol. 7	pp. 161-166 2007. 11
13	○日高 厚, 保賀康史	マグネシウム系固化材によるトンネル掘削ブ リの固化・不溶化処理に関する検討	第18回廃棄物学会研究発表 会 講演論文集	pp. 892-894 2007. 11
14	○山田浩幸, 加藤吉文 大村修一, 久保田 聡	変位の大きい脆弱地山における補助工法の設 計と施工に関する一考察	トンネル工学報告集 Vol. 17	pp. 51-58 2007. 11
15	○福田 毅, 山田浩幸 藤澤 努, 大村修一, 村上 章	逆解析を用いた情報化施工の高度化に関する 一考察	トンネル工学報告集 Vol. 17	pp. 59-65 2007. 11

No.	執筆者氏名（○；講演者）	題 名	発 表 誌 名	掲載ページ／ 発行(講演)年月
16	川田成彦（首都高速道路） 蔵治賢太郎（首都高速道路） 亀川 信，三浦俊彦	地下鉄直上を掘削する開削トンネルのリバウ ンド対策	基礎工 Vo. 35, No. 12,	pp. 36-40 2007. 12
17	蔵治賢太郎（首都高速道路） 大古殿利直（首都高速道路） 上代真之輔，宇佐美誠治	地下鉄が斜めに横断する土留め壁の設計と施 工	基礎工 Vo. 35, No. 12	pp. 41-44 2007. 12

<建築部門>

No.	執筆者氏名 (○; 講演者)	題 名	発 表 誌 名	掲載ページ/ 発行(講演)年月
1	山崎雄介(清水建設), 岩下 智	ゼネコンのものづくり技術戦略	日本建築学会総合論文誌 第5号	pp. 46-47 2007. 2
2	西川嘉雄, 佐藤 洋(産総研)	「室内の音声伝送品質の設計・評価基準」の 提案	日本建築学会 第61回音シンポジウム	pp. 2-11 2007. 3
3	小林正明(戸田建設), 西川嘉雄 佐藤 洋(産総研)	室用途と音声コミュニケーション形態の関係 について	日本建築学会 第61回音シンポジウム	pp. 12-18 2007. 3
4	○井川 望, 渡辺一弘(都市再生機構) 根本 恒(安藤建設), 梅村美孝(同) 金子 治(戸田), 高野公寿(鋼管杭協会) 勅使川原正臣(名古屋大学)	一体解析による杭基礎構造の地震時応力・変形 の検討	構造工学論文集 Vol. 53B	pp. 345-352 2007. 3
5	西川嘉雄, 佐藤 洋(産総研) 小林正明(戸田建設)	伝送距離が音声伝送物理指標に及ぼす影響に ついて	日本音響学会建築音響研究 会	AA2007-23 2007. 6
6	○梶山 毅 住 学 芝池達司	打込み直後に地震動を受けたコンクリートの 強度性状に関する実験 (その2 コア供試体による圧縮強度および 鉄筋の付着強度)	日本建築学会大会 学術講演梗概集(九州) A-1 材料施工	pp. 313-314 2007. 8
7	○住 学, 山口博史 梶山 毅, 大原達朗 高松 誠	保水性コンクリートに関する実験的研究	日本建築学会大会 学術講演梗概集(九州) A-1 材料施工	pp. 863-864 2007. 8
8	○多田克彦(太平洋セメント), 大倉真人(長谷工), 起橋孝徳(奥村) 住学, 井上孝之(竹中), 唐沢智之(鉄建) 森浩之(カルフール), 棚木隆(太平洋セメント)	環境配慮型CFT造に関する研究 その7 エコセメントを用いた高強度・高流 動コンクリートの腐食試験	日本建築学会大会 学術講演梗概集(九州) A-1 材料施工	pp. 1167-1168 2007. 8
9	○起橋孝徳(奥村), 寺西浩司(名城大) 梶田秀幸(前田建設), 西田浩和(フジタ) 依田和久(鹿島), 住 学 森 浩之(カルフール), 山田一徳(名城大)	環境配慮型CFT造に関する研究 その8 エコセメントを用いた高強度・高流 動コンクリートの収縮特性	日本建築学会大会 学術講演梗概集(九州) A-1 材料施工	pp. 1169-1170 2007. 8
10	○水野陽介(名城大), 寺西浩司(名城大) 石川靖晃(名城大), 梶田秀幸(前田建設) 依田和久(鹿島), 住 学 森 浩之(カルフール), 山田一徳(名城大)	環境配慮型CFT造に関する研究 その10 ダイアフラム近傍のコンクリートの 強度低下に関するFEM解析: 各種要因の影響の 検討	日本建築学会大会 学術講演梗概集(九州) A-1 材料施工	pp. 1173-1174 2007. 8
11	○井川 望 梅村美孝(安藤建設) 秋田知芳(豊橋技術科学大学大学院)	一体モデルの静的増分解析結果を用いた応答 スペクトル法による集合住宅建物の地震応答 算定 (その4) 上部・下部構造の地震応 答と部材応力の算定	日本建築学会大会 学術講演梗概集(九州) B-2 構造II	pp. 105-106 2007. 8
12	○関谷英一, 小堀 徹(日建設計) 樫原健一, 小坂橋裕一(日建設計) 黒木安男, 朝川 剛(日建設計)	板バネと粘弾性体を用いた鉄骨仕口制震シス テムの開発 (その1 システムの概要と基本性能)	日本建築学会大会 学術講演梗概集(九州) B-2 構造II	pp. 801-802 2007. 8
13	○片岡隆広, 関谷英一 樫原健一, 小堀 徹(日建設計) 小坂橋裕一(日建設計), 伊藤真二	板バネと粘弾性体を用いた鉄骨仕口制震シス テムの開発 (その2 ダンパー単体試験結果)	日本建築学会大会 学術講演梗概集(九州) B-2 構造II	pp. 803-804 2007. 8
14	○伊藤真二, 関谷英一 樫原健一, 小堀 徹(日建設計) 片岡隆広, 小坂橋裕一(日建設計)	板バネと粘弾性体を用いた鉄骨仕口制震シス テムの開発 (その3 実大フレームの振動台実験)	日本建築学会大会 学術講演梗概集(九州) B-2 構造II	pp. 805-806 2007. 8
15	○風間宏樹(日建設計) 樫本信隆(日建設計) 小堀 徹(日建設計), 樫原健一 小坂橋裕一(日建設計), 関谷英一	板バネと粘弾性体を用いた鉄骨仕口制震シス テムの開発 (その4 設計法)	日本建築学会大会 学術講演梗概集(九州) B-2 構造II	pp. 807-808 2007. 8

No.	執筆者氏名 (○: 講演者)	題 名	発 表 誌 名	掲載ページ/ 発行(講演)年月
16	○樫本信隆(日建設計) 風間宏樹(日建設計) 小堀 徹(日建設計), 樫原健一 小板橋裕一(日建設計), 関谷英一	板バネと粘弾性体を用いた鉄骨仕口制震システムの開発 (その5 設計例)	日本建築学会大会 学術講演梗概集(九州) B-2 構造II	pp. 809-810 2007. 8
17	○寺沢太沖(住友金属工業) 宇佐美徹(竹中), 鈴木康正(大林組) 藤井 睦, 飯塚信一(西松建設)	超高強度鋼を用いたコンクリート充填鋼管柱の構造性能に関する実験的研究 その1: 短柱圧縮実験	日本建築学会大会 学術講演梗概集(九州) C-1 構造III	pp. 1153-1154 2007. 8
18	○藤井 睦, 鈴木康正(大林組) 寺沢太沖(住友金属) 宇佐美徹(竹中工務店) 飯塚信一(西松建設)	超高強度鋼を用いたコンクリート充填鋼管柱の構造性能に関する実験的研究 その2: 800N級鋼を用いた円形柱の曲げせん断実験	日本建築学会大会 学術講演梗概集(九州) C-1 構造III	pp. 1155-1156 2007. 8
19	○鈴木康正(大林組), 藤井 睦 寺沢太沖(住友金属) 宇佐美徹(竹中工務店) 飯塚信一(西松建設)	超高強度鋼を用いたコンクリート充填鋼管柱の構造性能に関する実験的研究 その3: 1000N級鋼を用いた円形柱の曲げせん断実験	日本建築学会大会 学術講演梗概集(九州) C-1 構造III	pp. 1157-1158 2007. 8
20	○飯塚信一(西松建設), 鈴木康正(大林組) 藤井 睦, 寺沢太沖(住友金属) 宇佐美徹(竹中工務店)	超高強度鋼を用いたコンクリート充填鋼管柱の構造性能に関する実験的研究 その4: FEM解析	日本建築学会大会 学術講演梗概集(九州) C-1 構造III	pp. 1159-1160 2007. 8
21	○黒沢俊也(銭高), 藤井 睦 加藤政利(五洋), 加藤広宣(大日本土木) 土屋芳弘(飛鳥建設) 村田義行(高周波熱錬)	鋼製束とPC鋼棒を用いたスラブ補強構法の開発 その4 補剛効果の張力依存性に関する確認実験	日本建築学会大会 学術講演梗概集(九州) C-2 構造IV	pp. 155-156 2007. 8
22	○加藤広宣(大日本土木), 藤井 睦 都祭弘幸(五洋), 黒沢俊也(銭高組) 土屋芳弘(飛鳥建設) 村田義行(高周波熱錬)	トラス筋を用いたスラブ補強工法の開発 その1 工法および実験概要	日本建築学会大会 学術講演梗概集(九州) C-2 構造IV	pp. 157-158 2007. 8
23	○土屋芳弘(飛鳥), 藤井 睦 植木理枝子(五洋), 黒沢俊也(銭高組) 加藤広宣(大日本土木) 村田義行(高周波熱錬)	トラス筋を用いたスラブ補強工法の開発 その2 実験結果と計算値の比較	日本建築学会大会 学術講演梗概集(九州) C-2 構造IV	pp. 159-160 2007. 8
24	○村上秀夫, 岩倉知行(コリョー建販) 小杉雅男(堀江建築工学研究所) 太田 勤(同), 杉山智昭(東京理科大学) 松崎育弘(東京理科大学)	高強度開口補強金物を用いた大口径RC有孔梁のせん断性状に関する実験研究	日本建築学会大会 学術講演梗概集(九州) C-2 構造IV	pp. 227-228 2007. 8
25	○中澤敏樹(浅沼組) 横内 基(青木あすなろ) 萩原幸男(浅沼組) 田端 卓(安藤建設), 村上秀夫	既存鉄筋コンクリート梁の開孔補強法に関する実験研究 その1 実験概要と結果	日本建築学会大会 学術講演梗概集(九州) C-2 構造IV	pp. 211-212 2007. 8
26	○長本 誠(浅沼組), 菊池健児(大分大学) 黒木正幸(大分大学) 野中嗣子(大分大学), 池田研伍	既存コンクリートブロック塀の耐震安全性と地域地震防災に関する研究 (その1) 大分市立中島小学校区内のブロック塀の実態調査	日本建築学会大会 学術講演梗概集(九州) C-2 構造IV	pp. 899-900 2007. 8
27	○池田研伍, 菊池健児(大分大学) 黒木正幸(大分大学) 野中嗣子(大分大学), 長本 誠(浅沼組)	既存コンクリートブロック塀の耐震安全性と地域地震防災に関する研究 (その2) 大分市立中島小学校区内の道路状況および住民意識の調査	日本建築学会大会 学術講演梗概集(九州) C-2 構造IV	pp. 901-902 2007. 8
28	○西川嘉雄	音声伝送性能の物理評価指標測定方法の検討 その2 音源-受音点間の距離と物理指標の関係	日本建築学会大会 学術講演梗概集(九州) D-1 環境工学I	pp. 307-308 2007. 8
29	西川嘉雄, 佐藤 洋(産総研) 小林正明(戸田建設)	音源と受聴の位置関係が音声伝送物理指標に及ぼす影響について	日本音響学会秋季発表会	pp. 1011-1012 2007. 9
30	桐田史生(東京理科大学) 金澤健司(電力中央研究所) 森清宣貴, 北村春幸(東京理科大学)	建築物の地震損傷検知のための適応回帰型システム同定	日本建築学会構造系論文集 No.619	pp. 65-72 2007. 9